

大阪大学比較文学会
シンポジウム

描写の戦略と分析
メデイアを横断する
表象の力学



2023年1月30日(月)

13:00 ~ 15:30

聴講自由・事前申し込み不要

場所：待兼山会館2F会議室

問い合わせ先：

比較文学研究室 内線 2168

2023年1月30日（月）13:00-15:30

会場：待兼山会館2F会議室（オンライン配信なし）

描写の戦略と分析 メディアを横断する表象の力学

13:00-13:05 開会挨拶 橋本順光

発表

13:05-13:25

新城大地 「映像地獄」から歴史を叙述する

—『ワールドトリガー』と『マイノリティ・リポート』
における「未来」というサスペンス—

13:25-13:45

飯村言葉 「人ならざるものの潜む超自然的空間としての百貨店

—ポピュラーカルチャーにおける百貨店表象を例に—

13:45-14:05

西元まり 「現代サーカスの東西文化接触とその表象

—フランコ・ドラゴヌが描く飛翔—

14:05-14:25

エスカンド・ジェシ

「異世界ものにおけるファンタジー的転覆性の歪曲に関して

—『ゲート 自衛隊 彼の地にて、斯く戦えり』に見られる
〈ポップナショナリズム〉を事例に—

14:25-14:45 質疑応答

14:45-14:55 休憩

講演

14:55-15:15

橋本順光 「蜘蛛としての芸術家の肖像

—ディキンソンから山頭火まで—

15:15-15:25 質疑応答・議論

15:25-15:30 閉会挨拶 橋本順光

総合司会：山田志歩

主催：大阪大学大学院比較文学研究室